療育の引き出し通信

テーマ

ダウン症って何?

ダウン症候群（Down syndrome）：21番目の染色体が3本ある。
染色体異常のタイプにより通常型・転座型・モザイク型にわけられる。

全身の低緊張　身体発達がゆっくり

全身の筋肉の張りが低い（低緊張）ことが多い。
それに伴い姿勢を長時間維持することや、力を持続的に入れることに過度な疲労を示す傾向にある。顔面の筋肉の低緊張さにより滑舌に問題が出てくることも。
身体機能の発達も定型発達に比べゆっくりと進行する。
就学前に自立して行える動作の獲得が望まれる。

認知発達の遅れ

IQは50前後になることが多い。
ASDやADHDに似た行動特性を示すこともあり、生活上の困難につながることも多い。
認知発達の遅れに伴い、言語理解や表出にも影響を及ぼし、コミュニケーションの問題としても現れる。

その他合併しやすい疾患

先天性心疾患

眼球異常
分厚いメガネをかけている子も多い。

特徴的な相貌

甲状腺機能低下

消化器疾患

少し前までは、心疾患などにより予後が不良で長く生きられないことが多かったが、現在では、ダウン症の平均寿命は60歳となっている。